

経営課題ごとの取組（案）



経営課題1「人と人がつながるまちづくり」に関する取組

取組の方向性 「福島区将来ビジョン」より	地域活動協議会をはじめとした地域団体が実施する事業の活性化等を支援するとともに、若い世代やマンション住民などにも地域活動への参加を促し、地域コミュニティの充実を図ります。			
令和 7 年度の取組概要	地域活動協議会に対し、地域活動の担い手の負担軽減を図りつつ、組織運営できるように中間支援組織（まちづくりセンター）を通じた支援を行う。 特に地域活動協議会の実施する事業について若い世代の関心を高め、アンケート集約などの負担を軽減するため、また、町会加入を促すことができる発信方法にするため、アンケートやSNSなどのデジタルツールを活用できるよう、デジタルスキルを有した担い手の育成研修等を各地域で実施する。 地域活動団体等との協働による区民まつりを実施する。			
令和 7 年度の主な取組	取組内容	5 決算額	6 予算額	7 予算額
	地域活動協議会への組織運営支援	35,085 千円	36,414 千円	36,415 千円
	区民まつりの実施	5,361 千円	5,449 千円	5,449 千円
	合計	40,446 千円	41,863 千円	41,864 千円
年度末における自己評価				
今後の方向性				

経営課題ごとの取組（案）



経営課題2「安全・安心なまちづくり」に関する取組

取組の方向性 「福島区将来ビジョン」より	淀川の氾濫や南海トラフ巨大地震等による被害が想定される中、区民一人ひとりの「自助」「共助」の防災意識の向上に取り組めます。 また、地域・警察・区役所が連携し、防犯意識の向上と街頭犯罪の減少・抑止をめざして各種事業に取り組めます。			
令和 7 年度の取組概要	災害時に自主防災組織が主体となって初期対応を行い、住民が安全に避難できる体制を確立するため、地域で継続的に防災訓練等を実施できるよう支援するとともに、各種啓発活動（小中学校で開催する防災授業・出前講座・防災イベント等）を通して「自助」「共助」の防災意識の向上に努める。また、令和 6 年能登半島地震を教訓に災害時避難所等での安全安心を確保するため、トイレットペーパーなどの衛生用品等の物資を拡充する。加えて、避難に際して支援を要する方の事前の備えとして、個別避難計画の作成を支援する。 また、防犯カメラの設置など、地域・警察・区役所が連携し、防犯意識の向上と街頭犯罪の減少・抑止をめざして各種事業に取り組む。			
令和 7 年度の主な取組	取組内容	5 決算額	6 予算額	7 予算額
	避難所開設訓練等への支援	187 千円	511 千円	242 千円
	小・中学生の防災意識の向上	20 千円	51 千円	24 千円
	地域防災イベント	1,640 千円	1,350 千円	0 千円
	中学生体験学習事業	2,027 千円	2,742 千円	2,713 千円
	防災備蓄物資の拡充（要配慮者対策含む）	0 千円	10,107 千円	5,855 千円
	防犯カメラの設置、防犯啓発による安全なまちづくり	1,704 千円	2,050 千円	2,050 千円
	合計	5,578 千円	16,811 千円	10,884 千円
年度末における自己評価				
今後の方向性				



経営課題3「次世代を元気に育むまちづくり」に関する取組

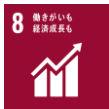
取組の方向性 「福島区将来ビジョン」より	子育てしている親の不安感等の解消のため各種施策に取り組めます。 また、学校教育の現場ニーズに対応した支援を学校と連携して行います。			
令和7年度の取組概要	妊娠期から就学前の子どもを持つ親の子育てで感じる孤立感や不安感、疲労感等を軽減するため、「赤ちゃん広場」や「美ママ講座」など各種事業を実施するとともに、授乳に関する助産師の専門相談、「ペアレントトレーニング事業」など保護者の養育力向上を支援する事業に取り組む。 特に妊娠期の教室において「プログラムで動く体験型赤ちゃん人形」を導入し、場面に応じたりアルな育児を体験することで、不安感の軽減につなげる。 また、公立の幼稚園・保育所に対し、知育玩具等の整備やボランティアの配置により、幼児の健やかな成長のための環境づくりを支援する。 小・中学校の児童・生徒に対しては、トップアスリートによる「ゲストティーチャー派遣事業」による体力向上や、民間事業者を活用した学習支援による学力向上・キャリア教育の推進、ボランティアによる不登校支援など、学校と連携しながら、それぞれの学校教育の現場ニーズに応じた取組を行う。			
令和7年度の主な取組	取組内容	5 決算額	6 予算額	7 予算額
	育児不安軽減に向けた子育て支援事業	1,472 千円	1,640 千円	1,653 千円
	妊婦教室等の充実（体験型赤ちゃん人形購入費）	0 千円	0 千円	727 千円
	赤ちゃん広場・発達障がい児の親のための相談事業	505 千円	600 千円	1,000 千円
	ペアレントトレーニング事業	4,522 千円	5,605 千円	6,222 千円
	公立の幼稚園・保育所に対する知育玩具等の整備	0 千円	0 千円	4,437 千円
	公立の幼稚園に対するボランティアの配置	0 千円	0 千円	630 千円
	小・中学生の基礎学力・体力向上事業	307 千円	507 千円	539 千円
	不登校児童生徒の居場所づくり事業（備品等の整備）	0 千円	7,040 千円	0 千円
	不登校児童生徒支援事業（ボランティアの配置）	0 千円	0 千円	4,972 千円
	合計	6,806 千円	15,392 千円	20,180 千円
年度末における自己評価				
今後の方向性				

経営課題ごとの取組（案）



経営課題4「誰もが自分らしくいきいきと暮らせるまちづくり」に関する取組

取組の方向性 「福島区将来ビジョン」より	住み慣れた地域の中で、高齢者や障がい者など支援を必要とする方々が、自分らしく安心して暮らし続けることができるよう、地域住民や企業、団体、関係機関等多様な主体と連携しながら地域福祉の推進に取り組めます。 また、誰もがいきいきと毎日を暮らせるように、日頃から健康への関心を高めもらえるよう啓発活動などに取り組めます。			
令和 7 年度の取組概要	「福島区地域保健福祉ビジョン」に基づき、複雑化・複合化する福祉ニーズに対応するため「総合的な支援調整の場（つながる場）」等を開催するなど相談支援体制を充実するとともに、住民同士の見守りなど地域福祉活動を支援し、お互いに気をかけ、つながり支え合う地域づくりに向けた取組を進めていく。 また、誰もがいきいきと毎日を暮らせるとともに、日頃から健康への関心を高めもらえるよう、生活習慣病予防やがん検診等の受診率向上、また、認知症予防やフレイル予防などの介護予防のための啓発に取り組む。			
令和 7 年度の主な取組	取組内容	5 決算額	6 予算額	7 予算額
	「みんなの相談室」・「福島お助けネットワーク」事業	15,927 千円	16,015 千円	17,533 千円
	地域福祉に関する広報啓発	169 千円	543 千円	530 千円
	生活習慣病予防やがん検診等の受診率向上のための啓発	191 千円	371 千円	371 千円
	いきいき百歳体操の普及・継続支援	福祉局予算で実施		
	合計	16,287 千円	16,929 千円	18,434 千円
年度末における自己評価				
今後の方向性				



経営課題5「魅力あふれるまちづくり」に関する取組

取組の方向性 「福島区将来ビジョン」より	地域住民や企業、商店街等との連携により、区の魅力を発信できるイベントを実施するとともに、花とみどりのまちづくりを推進するなど、活気とうるおいあるまちをめざします。			
令和 7 年度の 取組概要	区の花「のだふじ」を多くの区民に知ってもらい、地域への愛着を持ってもらうため、広報誌を含め様々な手法により情報発信していく。また、「これまでも、これからも、安心できるまちづくり」のテーマが伝わる効果的なイベントを、地域住民や企業、商店会等と連携しながら実施する。 「2025大阪・関西万博」において、区内の団体が「ざこばの朝市」や「だんじり」を出展することから、出展を支援するとともに、区の魅力を発信するため、出展団体と連携し、様々な媒体を用いて周知する。 緑化リーダーとの協働により種から花苗を育て、学校などの公共施設に提供し育成することにより、うるおいのあるまちをめざすとともに、まちの美化への区民の関心を高めるため、花とみどりのまちづくり活動を効果的に発信する。 地域や関係機関等と調整し、放置自転車が多い駅前などにおいて、啓発と即時撤去を同時に実施するキャンペーンを行う。			
令和 7 年度の 主な取組	取組内容	5 決算額	6 予算額	7 予算額
	「のだふじ巡り」「のだふじまつり」	1,207 千円	1,268 千円	1,558 千円
	「ふくしまてんこもり」	1,000 千円	1,000 千円	775 千円
	大阪・関西万博（仮称）大阪ウィーク催事事業	0 千円	0 千円	1,673 千円
	花とみどりのまちづくり事業	623 千円	657 千円	510 千円
	市民協働型放置自転車対策事業	6,897 千円	8,665 千円	8,814 千円
	合計	9,727 千円	11,590 千円	13,330 千円
年度末における 自己評価				
今後の方向性				